

令和5年度 第2回大和市入札監視委員会 会議要旨

1. 日 時 令和5年11月28日(火) 10時00分～11時00分
2. 場 所 大和市役所 第5会議室
3. 出席状況 委 員 3名
事務局 4名
4. 会議次第
 - 1 委員長あいさつ
 - 2 議題
 - (1) 入札状況について(報告)
 - (2) 入札参加停止業者について(報告)
 - (3) 抽出事案の審議について
 - ・別紙一覧表のとおり
 - 3 答申について
 - 4 その他

【会議要旨】

- 1 委員長あいさつ
- 2 議題
 - (1) 入札状況について(報告)
事務局から工事、コンサル、一般委託、賃貸借及び物品ごとの発注件数を説明。
 - (2) 入札参加停止業者について(報告)
現在の入札参加停止業者の内容について説明。
 - (3) 抽出事案の審議について

①北部浄化センターNo. 1 初沈汚泥ポンプ補修（債務負担行為）

【抽出理由】

落札した業者以外の2者が最低制限価格以下で無効となっており、その結果、高い落札率（対設計）で落札されているが、最低制限価格は適切だったのか。

また、落札者より低価格を提示した2者が無効となっている理由を伺いたい。

【回答】

設計にあたっては、本補修で使用するポンプの交換部品等は公的単価がないため、市内、県内の機械器具設置業者の複数者の設計用参考見積りを用いて水質管理センター補修業務設計積算等指針に基づき、設計金額を算出しました。

設計用参考見積りを用いて積算を行った設計金額については、入札に参加した業者の部品購入先及び労務費等により入札額との間に差が生じますが、本案件の落札者については、積算が市の考え方に近似していたものと推察されます。

また、最低制限価格を下回った業者のうち1者は、設計用参考見積りの時点では、落札者より高い見積りであったことから、入札の段階で受注のための競争力が強く働いたものと考えられます。

最低制限価格については、国の中央公契連モデルの設定率を採用した「大和市工事請負の入札に係る最低制限価格設定要領」に基づき適正に算出しており、問題はありません。

落札者より低価格を提示した2者が無効となった理由は、最低制限価格未満の入札金額であったためです。

【質疑】

委員：設計価格からどのように最低制限価格を算出しているのか。

事務局：案件ごとに直接工事費等4つの区分に分けられた経費に、国の中央公契連モデルの設定率に基づき計算をすることで算出している。

委員：最低制限価格は裁量の余地がないということか。

事務局：計算に基づくもので、裁量の余地はない。

②公共樹設置工事（令和4年度No.27）

【抽出理由】

辞退が4者、不参加が1者となっているが、何か事情があったのか。

【回答】

本工事は、公共汚水樹を接続する下水道本管が土被り4m以上と深く、通常の開削工法では施工が困難であったことから、取付管の布設には専門性、特殊性が高い推進工法を採用しました。

辞退や不参加の理由について、辞退業者の1者からは、下請け業者が見つからないためといった理由を聴取しています。また、本案件の入札公告期間と同時期に、別案件の公告もあり、いずれも本案件より設計金額が高いこと、本案件に要するような特殊性の高い工法を含まない内容であったことにより、それらを優先した結果であると分析しています。

【質疑】

特になし

③令和5年度（仮称）中央の森2号緑地公園整備工事

【抽出理由】

最低制限価格（と同額）で入札する事業者が複数いる結果、くじとなっているが、設定された最低制限価格に問題はないか伺いたい。

【回答】

本案件のような土木工事の設計に際しては、神奈川県単価や歩掛が工事内容ごとに公表されているほか、見積りによる材料費等、市独自に採用した単価についても入札時に公開しています。そのため、個々の金額を積み上げて積算した場合、積算能力が高ければ市の設計額を正確に算定できるものと考えています。

また、今回の入札結果については、最低制限価格と同額での「くじ」による決定であることから、受注意欲の高い入札参加者による価格競争が強く働いた結果であると捉えています。

最低制限価格については、国の中央公契連モデルの設定率を採用した「大和市工事請負の入札に係る最低制限価格設定要領」に基づき適正に算出しておりますので、問題はございません。

【質疑】

委員：最低制限価格と同額の業者が複数いて、くじにて決定するという案件がいくつも見られるが、積算の精度を高めるにはどの程度の経験が必要であるか。

事務局：各業者にて積算システムを導入しており、当該システムを使いこなすこと、神奈川県公表している単価を適切に当てはめることが必要になっている。

委員：「大和市工事請負の入札に係る最低制限価格設定要領」は、大和市が独自に作っているものか。

事務局：市として要領を定めているが、内容は国の中央公契連モデルの最新の内容に基づいている。

委員：どの市でも同じなのか。

事務局：中央公契連モデルの最新の内容に基づいていることが多いかと思うが、各市の考え方による。

④令和5年度生活道路整備工事（第1工区）

【抽出理由】

最低制限価格（と同額）で入札する事業者が複数いる結果、くじとなっているが、設定された最低制限価格に問題はないか伺いたい。

【回答】

本案件のような土木工事の設計に際しては、神奈川県単価や歩掛が工事内容ごとに公表されているほか、見積りによる材料費等、市独自に採用した単価についても入札時に公開しています。そのため、個々の金額を積み上げて積算した場合、積算能力が高ければ市の設計額を正確に算定できるものと考えています。

最低制限価格については、国の中央公契連モデルの設定率を採用した「大和市工事請負の入札に係る最低制限価格設定要領」に基づき適正に算出しておりますので、問題はございません。

【質疑】

特になし

⑤まごころ地域福祉センター中規模改修工事（機械設備）

【抽出理由】

設計金額の算出方法を教えていただきたい。

【回答】

設計金額は、国の定める公共工事積算基準に基づき算出しています。算出における採用単価は、大和市建築工事積算要領に則り、県単価や刊行物による市場単価、見積単価等を用いています。

【質疑】

委員：この案件については、入札額にばらつきが見られるが、積算しにくいものであったのか。

事務局：空調設備等の入替えがある工事で、大量にまとめて調達しているか否か等、各業者の調達額の違いもあると推測する。

⑥ やまと24時間健康相談業務委託（債務負担行為）

【抽出理由】

入札金額の開きが大きいのが、設計金額の算出方法を教えていただきたい。

【回答】

事前に複数者から参考見積を取得しており、その複数の見積を参考に市の設計金額を算出しております。

【質疑】

委員：入札額にばらつきが見られるのはどうしてか。

事務局：業者の体制の組み方によっても金額が変わってくると推測される。今回、落札率が低かったことから、落札者に仕様の見落としがないかを確認したが、そのようなことはなかった。また、現在までの間の業務に問題はないと聞いている。

委員：相談体制としては、医師が24時間常駐しているのか。

事務局：保健師等の専門職が24時間対応しており、医師については常に連絡が取れる体制をとっている。

委員：他のコールセンターでは、遠隔地で対応していて、話してみると当該地のことをわかっていないということがあるが、この事業はそのようなことはないのか。

事務局：市内で電話を受けているわけではないが、ご指摘のような話は挙がっていない。

⑦令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種事務委託

【抽出理由】

他にも信頼し得る業者は存在しないのか。新型コロナウイルスワクチン接種事務委託ということで、何か特殊性があるのか。

【回答】

本委託の業務内容のうち、接種予約業務は、本人確認、対象者か否かの重要な判定(接種履歴確認)を含む特殊な業務です。

また、本市のコールセンターでは、接種券やワクチンパスポートなどの発行業務も行っており、制度案内、申請受付、発行まで一連の業務を電話対応業務や窓口業務と一体的に実施しているとともに、集団接種会場とリアルタイムにキャンセル情報の共有を図るなど本市独自の運用もあることから、同一業者による継続性、正確性を市として最重要視し、当初から随意契約を採用してきたものです。

【質疑】

委員：ワクチン接種が始まった頃とは状況が違ってきているので、随意契約としなくてもよいのではないかと。

事務局：当初は業者、人員の確保ということがあったが、各市でのワクチン接種の仕方の違いや前回接種からの引継ぎ等、今は継続性、正確性ということが必要になっていると考えている。

⑧令和5年度ダイオキシン類作業環境測定委託

⑨令和5年度ダイオキシン類分析業務委託

【抽出理由】

ダイオキシンの測定・分析と一連の業務のようにも思えるが、業務を分けて入札している理由を教えてください。

【回答】

令和5年度ダイオキシン類作業環境測定委託は、要綱に基づき、平成28年度からダイオキシン類にばく露する恐れのある焼却炉付近における空気中のダイオキシン類等の測定を年に2回、9月及び1月に行っています。測定結果については、大和市環境管理センターダイオキシン類対策委員会に提出、委員会に報告、この結果により次年度の防護措置（防護マスク、防護服等）を検討しています。当該委託は、従事職員の健康被害が起らないよう、適正な就業環境を維持する目的で行っているものです。

令和5年度ダイオキシン類分析業務委託は、法令に基づき排ガス、排水や焼却灰中のダイオキシン類の濃度を測定するものです。測定結果は神奈川県に報告するほか、大和市のホームページに掲載しています。当該委託は、規制基準の遵守及び適正な施設の運転管理を図る目的で行っているものです。

【質疑】

特になし

⑩令和5年度公園草刈等業務委託（E地区・単価契約）

【抽出理由】

落札した業者以外が、いずれも辞退若しくは不参加となっているが、何か事情はあるのか。

【回答】

市内の「樹木保護管理委託」の全登録業者を対象に5案件を発注するものですが、業務の円滑性に鑑み、同一業者が2地区以上受注できないよう、「1業者1地区まで」という応札条件を設定し、入札を実施しております。

今回、辞退又は不参加となった5者は、当該E地区の開札までに、既にA～D地区を落札している業者（4者）、及び、技術者不足のため入札を降りた業者（1者）です。

E地区の開札では、入札参加者は少なくなることに加え、業者はかつて受注したことのある地区への入札を行う等、土地勘のある地区への入札を行う傾向があると考えます。

【質疑】

委員：入札はA地区からE地区へ順に行っていくものか。また、順番に行っていくことからE地区は競争が激しくないと予測されるものか。

事務局：A地区から順に入札を行っている。D地区までの落札者を除いても入札参加対象となる業者数は10者以上おり、競争性があるものとする。

委員：入札参加をしているのは6者であったが、他の業者はどうなっているのか。

事務局：入札参加対象となる業者は他にもいるが、入札する意欲があって参加申請をしたのが6者ということである。

委員：いつも同じ業者が落札するという状況があるのであれば、競争性が働いていないとも考えられるのではないか。この地区はこの業者ということがなんとなく決まっているということはないのか。

事務局：入札参加対象となる業者が20者以上いる中で、各業者が入札に参加するか、どの地区に参加するかを検討した上で入札をすることから、競争性はあると捉えているが、前年度に受託しているのでやりなれたこの地区を取りたいと意欲が高く入札した結果、同じ業者が落札するということも考えられる。

⑪教育ICT包括業務委託（債務負担行為）

【抽出理由】

設計金額が比較的大きな案件であり、且つ、落札率が高いが、なぜ入札業者が1業者のみだったのか、事情はあるのか。また、入札する業者が1業者のみというのは、想定内だったのか。

【回答】

入札前の参考見積を複数者から取得しており、競争性を確認のうえ条件付一般競争入札を実施しましたが、結果、応札は1者でした。

理由として、業務のうち特に、通年のヘルプデスク設置、生徒児童全員（約17,500名）のタブレット機器設定・アカウント発行・故障対応は本市独自の業務内容であり、工数が多いため、参加企業の最終的な応札判断に影響した可能性があるとして分析しています。

【質疑】

特になし

⑫大和市特別支援教育センター及び青少年相談室

複写機賃貸借（単価契約・長期継続契約）

⑬青少年センター複写機賃貸借（単価契約・長期継続契約）

⑭令和5年度環境管理センター・デジタル複合機

賃貸借（単価契約・長期継続契約）

【抽出理由】

いずれも複写機の賃貸借でいずれも同じ業者が落札しているようだが、何か理由があるのか。

【回答】

大和市特別支援教育センター及び大和市青少年相談室複写機賃貸借と、青少年センター複写機賃貸借については、前回のリース元と同じ事業者が落札したものです。

事務に必要な複写機の機能や想定使用数量等を記載した仕様書を作成するとともに、複数の業者から参考見積書を徴取し、競争性を確保した上で条件付一般競争入札に付し、結果として入札金額が一番安価な当該業者が落札したものです。

環境管理センター・デジタル複合機賃貸借については、前回のリース元とは別業者が落札したものです。

当該落札者の視点からは、他の2案件と同時期、且つ同じ発注元から複数の契約を取得できれば、メンテナンス作業等において経費削減が図れるため、企業努力が講じられた結果であると分析しています。

【質疑】

特になし

3 答申について

事務局から、答申について事務連絡。

4 その他

事務局から、次回の日程等について案内を行った。

以上

